

私たちと 大和川 ～飛鳥川～

今回は、大和川の支流の中でも飛鳥川を取り上げ、川の様子や地域のおすすめスポットなどを紹介します。

水系／一級水系大和川

水源の標高／584m

流域面積／44km²

水源／高取山麓

1. 概要

奈良県高市郡高取山を水源として明日香村の中央部を北流。橿原市、田原本町、三宅町を経て川西町保田で大和川に合流します。上流部では棚田の美しい景観が、中流部では飛鳥宮・藤原京の歴史・文化的遺産が数多く存在し、下流部は人為的に区画された河道となっています。

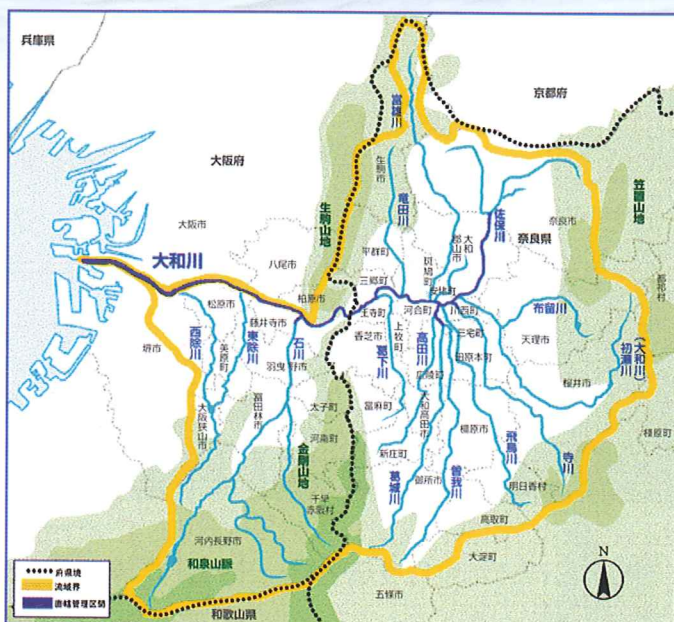
飛鳥川は、飛鳥・藤原の都に住み暮らした人々が愛した里川であり、万葉の時代から、数多くの和歌に詠まれてきました。その数は万葉集だけで実に20首。後世には、飛鳥を見たことのない人々にも歌枕として親しまれました。

世の中は何か常なる飛鳥川 昨日の淵が今日は瀬となる (古今和歌集 詠み人知らず)

「この世の中は何が常なるものと言えるだろうか、飛鳥川の昨日の淵だった所も今日は瀬になるものだから」という意味のこの歌は、古代の飛鳥川が、世の無常にたとえられるほど変化の激しい川であったことを伝えてくれます。その様相は、橋を架けても流されてしまうほどであったようで、橋の役目を果たしていたという飛び石が、今でもその名残として残っています。

飛鳥川では、美しい景観を臨みながら古代へのロマンに思いを馳せることができます。

<参考> ・ <http://agua.jpn.org/> <http://www.jriet.net/magazine/2007/kawaaruki07/0704/0704.html>
 ・ <http://www.milord-club.com/index.htm>



大和信用金庫

<http://www.yamato-shinkin.co.jp/>

よみがえれ! 大和川清流復活ネットワーク
大和川清流復活大作戦

奈良県

2. 川の様子

今回は世界遺産登録を目指す高市郡明日香村の飛鳥川中流域を訪問しました。甘樫丘の近くには、聖徳太子誕生地とされる橘寺や川原寺が建立されていて、北を望めば大和三山が見えて古代の人々の姿が想像されます。この近くは川沿いに歩道が整備され、ウォーキングには最高のロケーションです。訪問した時は川の水量も少なく、流れも穏やかで水質はきれいな感じでした。



甘樫丘付近



川の付近はきれいに整備され一度は是非訪れて欲しいと思います。古代の偉大さを感じながら川の周りを歩いてみると、ところどころにゴミがあり、ペットボトルなどが川に投げ捨てられていました。飛鳥川の平成20年度のBOD値は、訪問した甘樫丘で1.3mg/l、神道橋付近で1.1 mg/l、下流の保田橋付近で3.4 mg/lとなっており、上流域では比較的水質は良好であると思われます。

(数値出典：平成20年度奈良県環境調査報告書より)



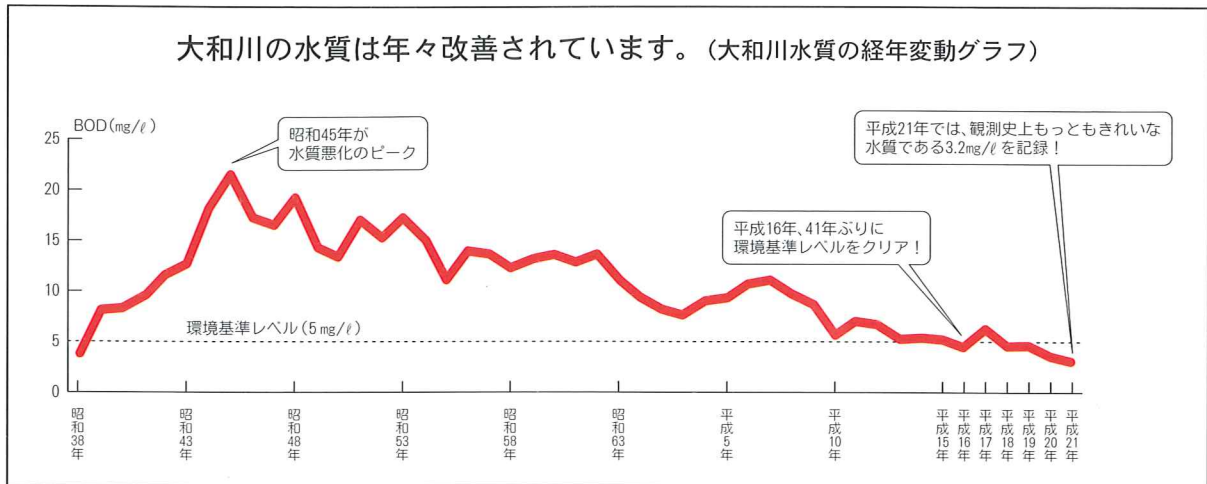
飛鳥川中流付近



飛鳥川上流付近

3. 水の汚れの原因は…

わたしたちのふるさとの河川である大和川の水質は近年大幅な改善がみられ、平成21年の平均値では観測史上最もきれいな水質を更新し、BOD値が3.2mg/ℓとなりました。全国一級河川のワーストランキングでも、長く続いたワースト1位からの脱却が図れ、平成21年ではワースト3位となっています。



平成21年 全国一級河川水質のワースト5

順位	河川名(水系)	都道府県名	BOD年平均値 (mg/L)
1	綾瀬川(利根川水系)	埼玉・東京	3.7
2	中川(利根川水系)	埼玉・東京	3.2
3	大和川(大和川水系)	奈良・大阪	3.2
4	猪名川(淀川水系)	兵庫・大阪	3.1
5	鶴見川(鶴見川水系)	神奈川	2.7

【参考】BOD値とは…
 [BOD]とは生物化学的酸素要求量(Biochemical Oxygen Demand)の略称で、主に川や下水、排水の汚れを測定するのに用いられています。

大和川は少しずつですが、着実に昔の姿に戻りつつあります。

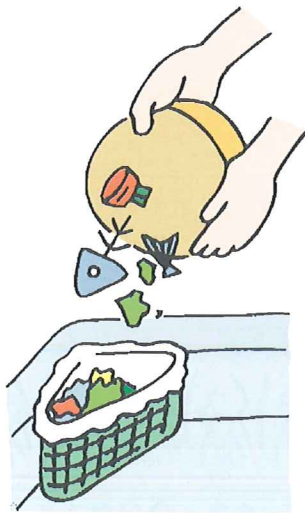
今年は『平城遷都1300年』の記念すべき年です。

“国のまほろば”である大和の国の大和川の自然を子どもたちに引き継いでいけるよう、みなさんと共にきれいにしていきましょう。



子どもたちが、いきいきと水しぶきを上げて遊べる川をめざして。

川をきれいに守るために ～家庭でできる生活排水対策～



排水口には水切りネットや使えなくなったストッキングなど細かい網をつけましょう。

やましんおすすめの「水切りネット」



おすすめのポイント

- ・目が細かく、小さなゴミまでしっかりキャッチ!
- ・ヌメリがつきにくくなります。
- ・三角コーナーや浅型排水口にも使えます。



4. 周辺のまちを探索しよう!

① 柏森、稲渚

この二つの集落では毎年1月に綱掛（カンジョ掛）神事が行われる。柏森では女性器に見立てられた「福石」を結わえて「女綱」が仏式で掛けられる。

これに対し2km下流の稲渚新所橋では陽物(男性器)を象った麦藁をぶら下げた「男綱」が掛けられる。

どちらも子孫繁栄、五穀豊穡を祈念すると共に悪疫が村落に入り込むのを防ぎ村人を守護する為の神事であるという。

古来飛鳥川が流域の人々の暮らしに密接に関わってきた様子を窺い知ることができる。



<男綱>



<女綱>

② 阪田・祝戸

稲渚新所橋から少し下流には、棚田が眼前に広がる。

ここは「日本の棚田百選」に選ばれており、春の蓮華、夏の青稲、秋の彼岸花と四季折々の表情は正に古き良き日本そのものであり、千年続く鶏犬の原風景を今に伝えてくれる貴重な地域である。



5. おすすめスポットの紹介

甘樫丘 あまかしのおか

甘樫丘は、飛鳥の里を見下ろす標高148mの小高い丘で、大和三山や飛鳥宮・藤原京など大和の美しい風景が一望できます。この丘の中腹と麓に、蘇我蝦夷・入鹿親子の邸があったと言われ、丘全体が国営飛鳥歴史公園甘樫丘地区となっています。

